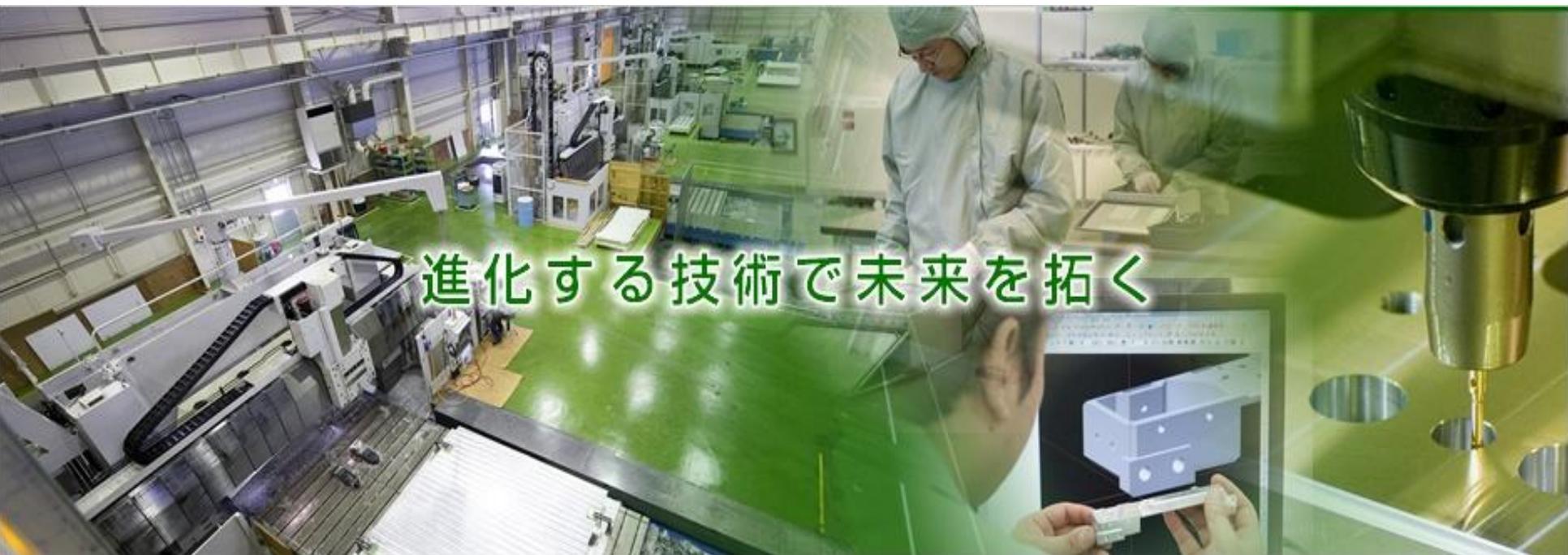




東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ 平成26年8月期 決算説明会

平成26年10月24日
大手町サンケイプラザ 201号室



進化する技術で未来を拓く

P/L分析

P/L

	平成25年8月期		平成26年8月期		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	1,128	—	1,621	—	43.8
受注残高	101	—	163	—	60.9
売上高	1,162	100.0	1,585	100.0	36.4
売上原価	865	74.4	1,137	71.7	31.4
売上総利益	297	25.6	448	28.3	50.8
販売管理費	170	14.7	180	11.4	6.0
営業利益	126	10.9	267	16.9	111.0
経常利益	128	11.1	255	16.1	98.8
特別損益	▲43	▲3.7	50	3.2	—
当期純利益	81	7.0	302	19.1	269.5
EPS(円)	46.93	—	173.41	—	269.5
EBITDA	241	—	373	—	54.6

Point

①受注状況

- 半導体分野: 769百万円
(対前年同期: 49.9%増)
- FPD分野: 406百万円
(対前年同期: 31.1%減)
- その他分野: 445百万円
(対前年同期: 大幅増加)

②売上高

- 対前年同期36.4%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費: 111百万円増
(対前年同期: 66.9%増)
- 外注加工費: 145百万円増
(対前年同期: 116.0%増)
- 減価償却費: 8百万円減

④営業利益

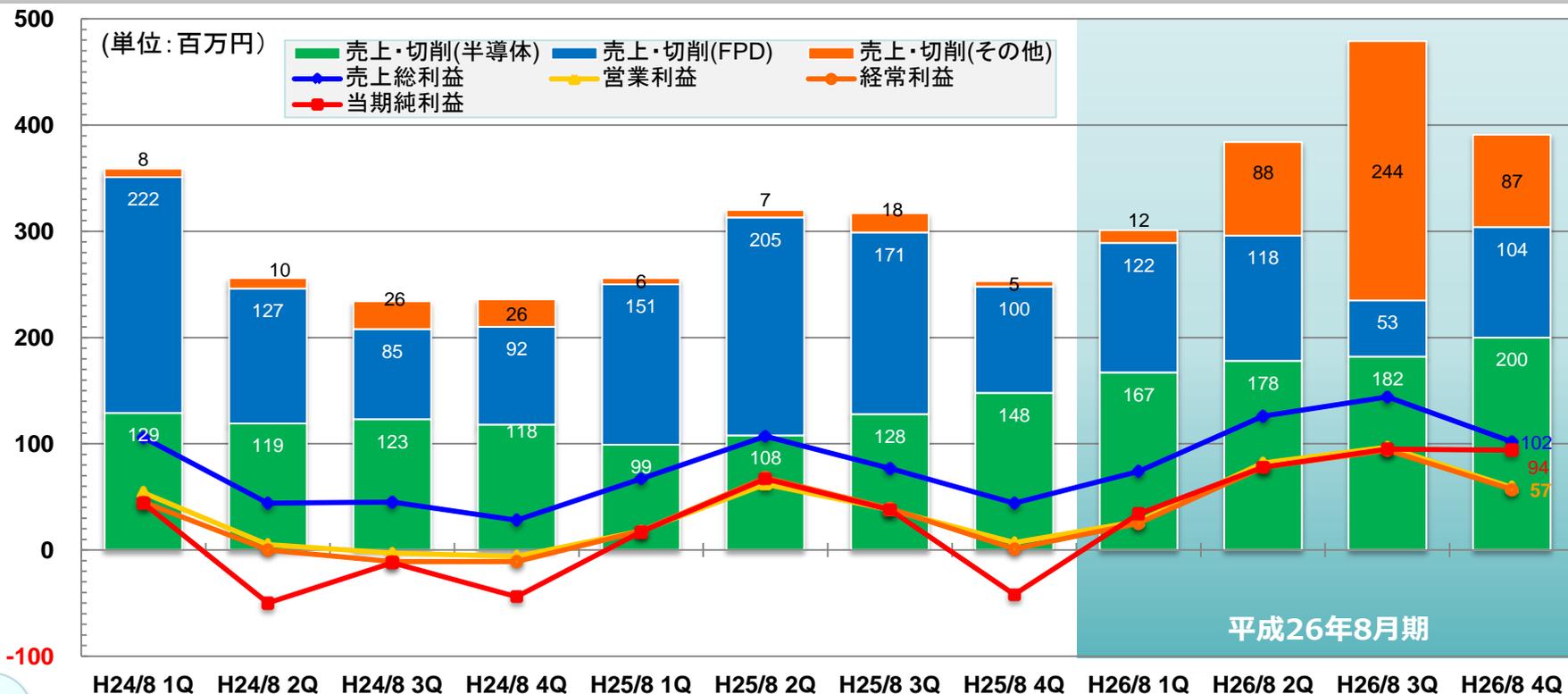
- 販売管理費は若干の増加

⑤営業外収益/費用・特別利益/損失

- 支払利息: 15百万円
- 補助金収入: 10百万円

1.決算概要

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野がけん引(数値は通期)

■半導体分野:728百万円(対前年同期:50.2%増)

- ・既存顧客からの受注品種拡大と生産体制の整備と強化で好調に推移

■FPD分野:398百万円(対前年同期:36.6%減)

- ・独自技術を生かし真空装置部品を中心に受注獲得

■その他分野:432百万円(対前年同期:大幅増加)

- ・スマートフォン、タブレットPC関連の製造装置部品、ユニットの受注に成功

②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・受注品種拡大と外注活用により、変動費率変化
- ・売上高増加と生産性向上により営業利益を拡大

1.決算概要



B/S分析

B/S

(単位:百万円)	平成25年8月期 会計年度末	平成26年8月期 会計年度末
流動資産	747	906
現金及び預金	326	162
受取手形・売掛金 電子記録債権	370	648
たな卸資産	40	85
固定資産	913	859
建物・土地	586	570
機械及び装置	230	265
流動負債	261	138
有利子負債(短期)※	176	12
固定負債	1,305	1,231
長期借入金	1,303	1,229
負債合計	1,566	1,369
純資産合計	93	396
総資産	1,660	1,765

※ 有利子負債(短期): 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① 資産: 1,765百万円(前期末比: 105百万円増加)
 - ・受取手形及び売掛金等: 278百万円増加
 - ・現金及び預金: 164百万円減少
 - ・有形固定資産: 52百万円減少
- ② 負債: 1,369百万円(前期末比: 197百万円減少)
 - ・1年内返済予定の長期借入金: 164百万円減少
- ③ 純資産: 396百万円(前期末比: 302百万円増加)
 - ・自己資本比率 22.4%

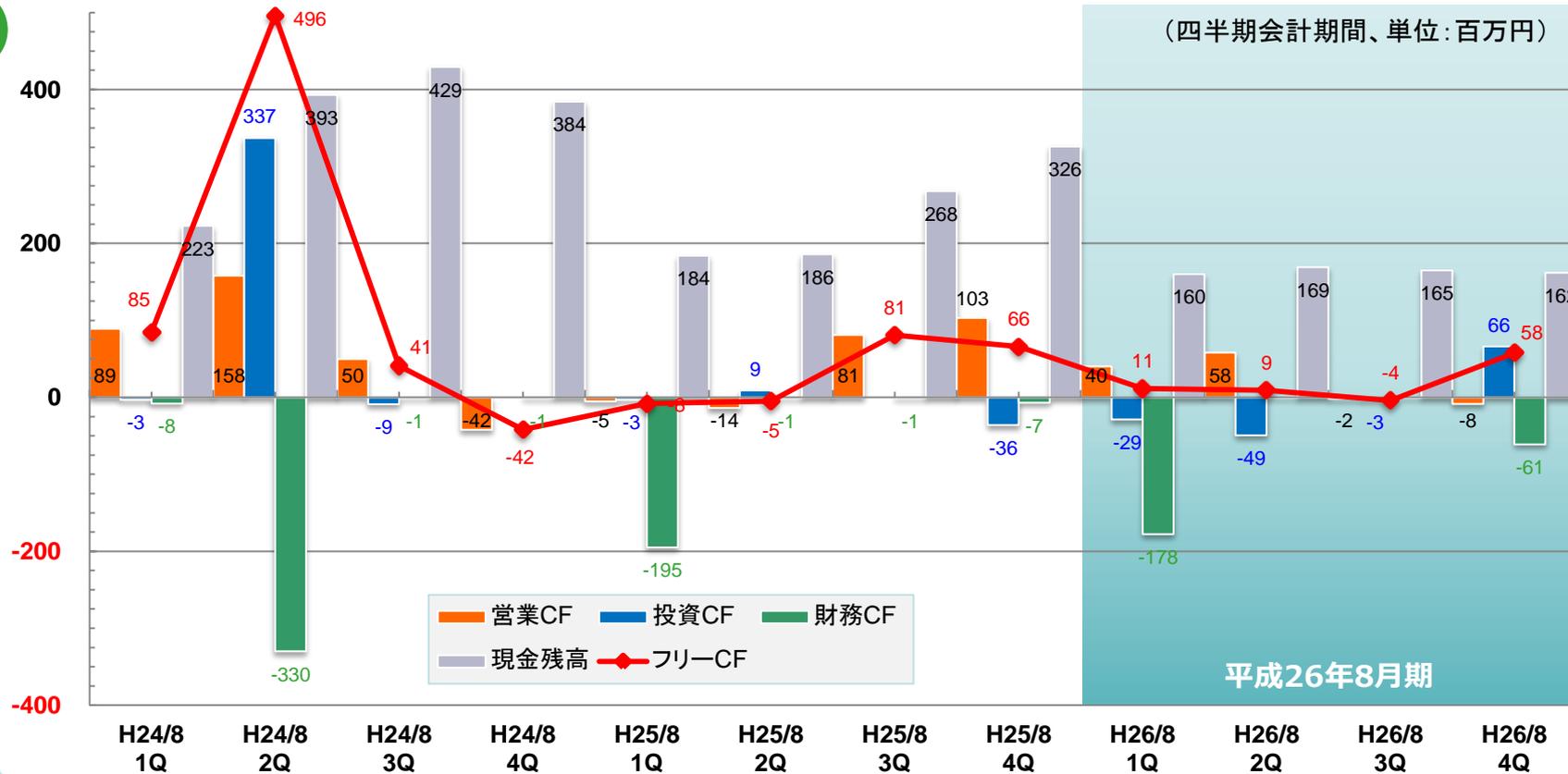


1.決算概要



CF分析

CF



Point

① 営業活動によるCF(通期) : 88百万円

- ・税引前当期純利益による増加 : 305百万円
- ・減価償却費による増加 : 105百万円
- ・売上債権の増加による減少 : 278百万円
- ・たな卸資産の増加による減少 : 44百万円

② 投資活動によるCF(通期) : ▲14百万円

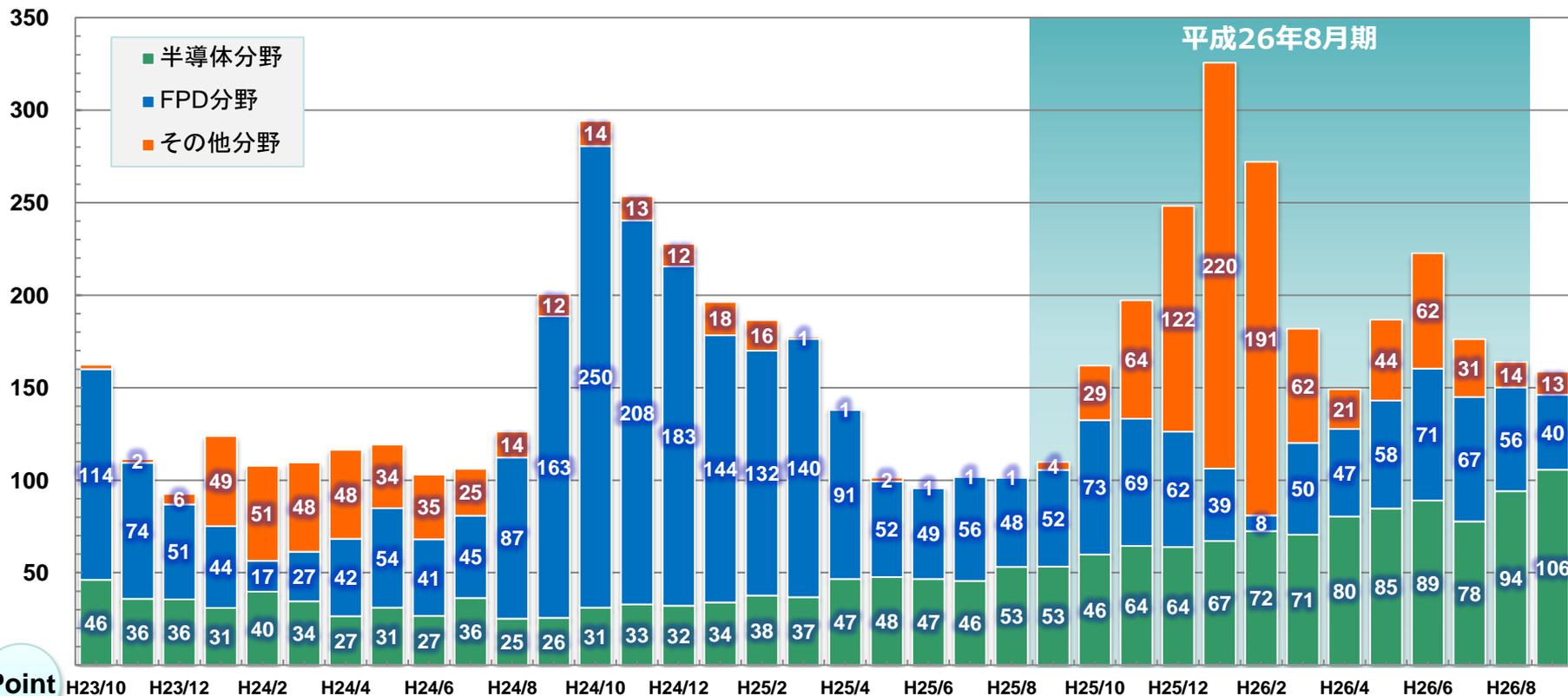
- ・有形固定資産の取得による支出 : 83百万円

③ 財務活動によるCF(通期) : ▲239百万円

- ・長期借入金の返済による支出 : 237百万円

月次受注残高の推移

(単位:百万円)



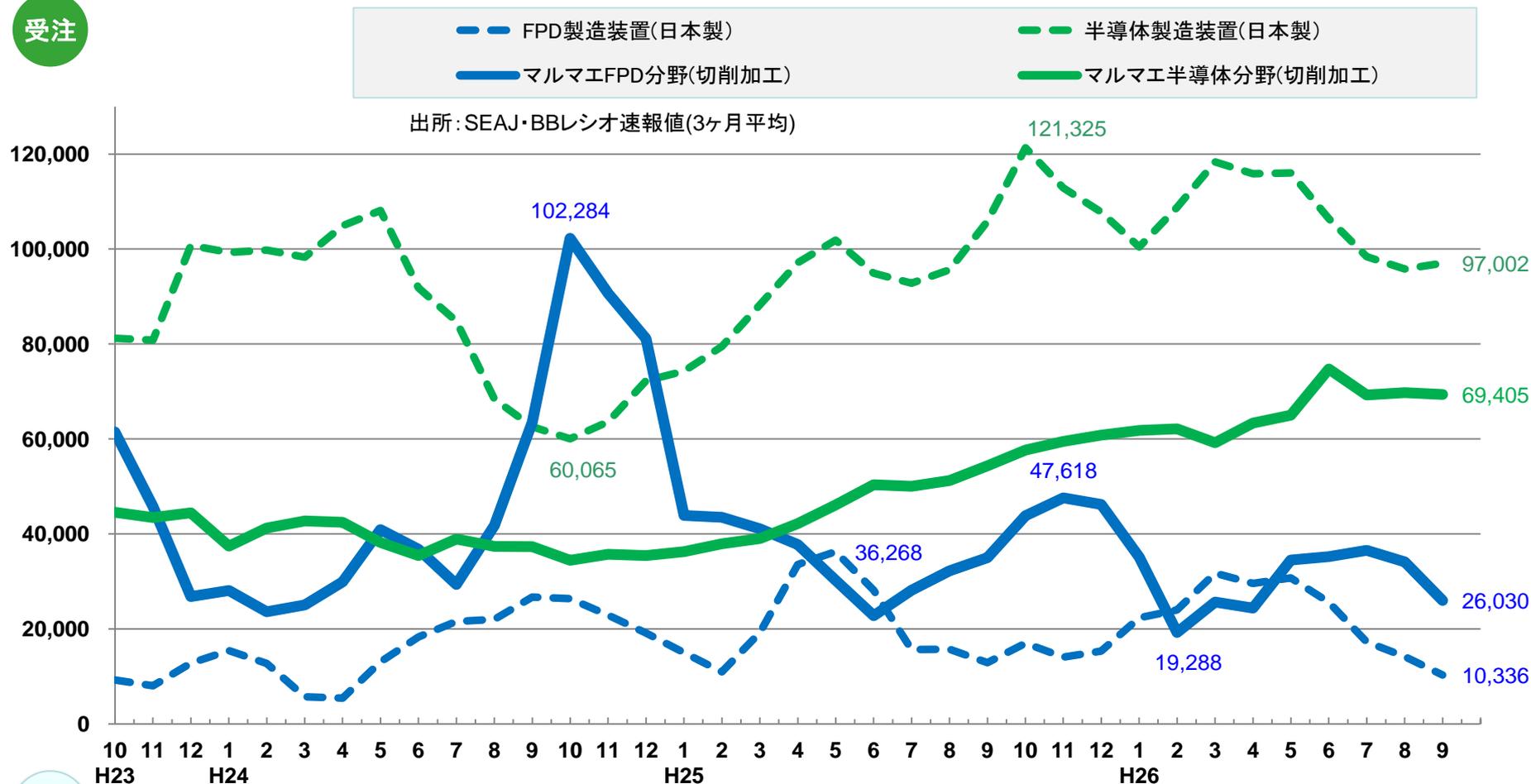
Point

- 半導体分野は、堅調な市場環境のなか、顧客内シェアの拡大で受注残高および売上高の増加傾向が続いた。
- FPD分野は、引き合いが出始めながらも、実際の受注は停滞した。
- その他分野は、一定のリピート受注を継続的に確保できた。

※当社の受注は、案件ごとに長ささまざまなリードタイム(LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

市場とマルマエの受注動向比較(3ヶ月移動平均数値)

受注



Point

- 半導体分野は、装置市場が堅調な上、顧客内でのシェア拡大が続き受注増加傾向。
- FPD分野では、日本製製造装置受注に連動し受注が停滞したことで、弊社受注も低調。

販売分野別の環境と営業方針のまとめ

半導体分野

- ◆ 半導体製造装置市場は工程により濃淡あるも概ね好調
- ◆ 前工程真空部品での引き合い増加
- ◆ 社内生産能力の拡大と協力企業活用でシェア拡大に全力

FPD分野

- ◆ 足元でG8設備投資進行し、H27年前半はG5～G6で複数引き合い
- ◆ G8設備の受注が停滞し、G5～G6は顧客目標価格達成が障壁
- ◆ 価格厳しいが、採算性重視し選別受注方針維持

その他分野

- ◆ H26/8期開拓顧客からの受注継続、iPhone6好調も追い風
- ◆ 各種部品からユニット組立まで、総合的なニーズへ対応
- ◆ 従来顧客へ総合的コストダウンでシェア拡大、新分野営業も並行

3.平成27年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

業績
予想

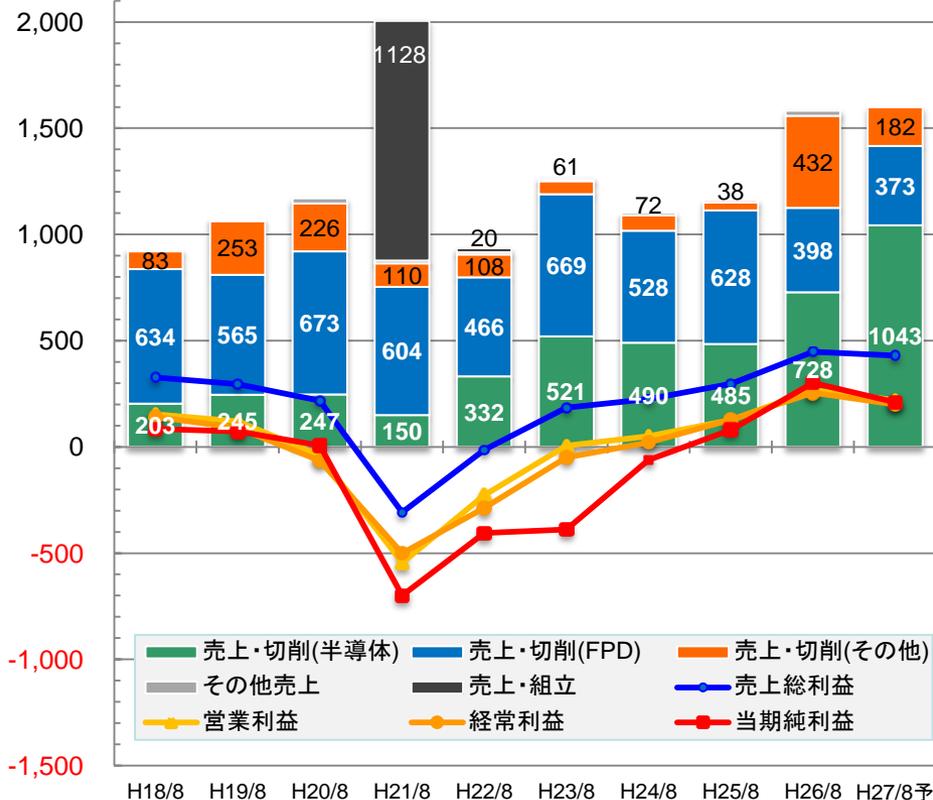
(単位:百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成27年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期 累計期間	780	100	90	100	57.32
通期	1,600	220	200	210	120.37

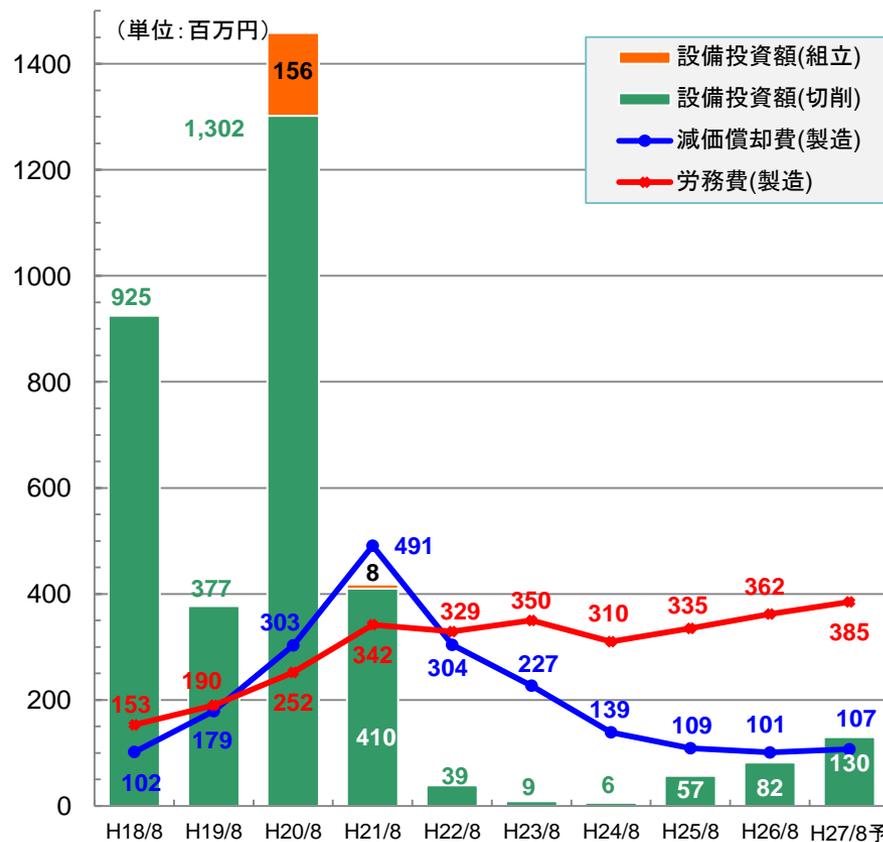
Point

- ✓ 半導体分野は順調に拡大で強気見通し
- ✓ FPD分野は年度半ばから回復見通し
- ✓ FPDとその他分野は保守的な算出方法

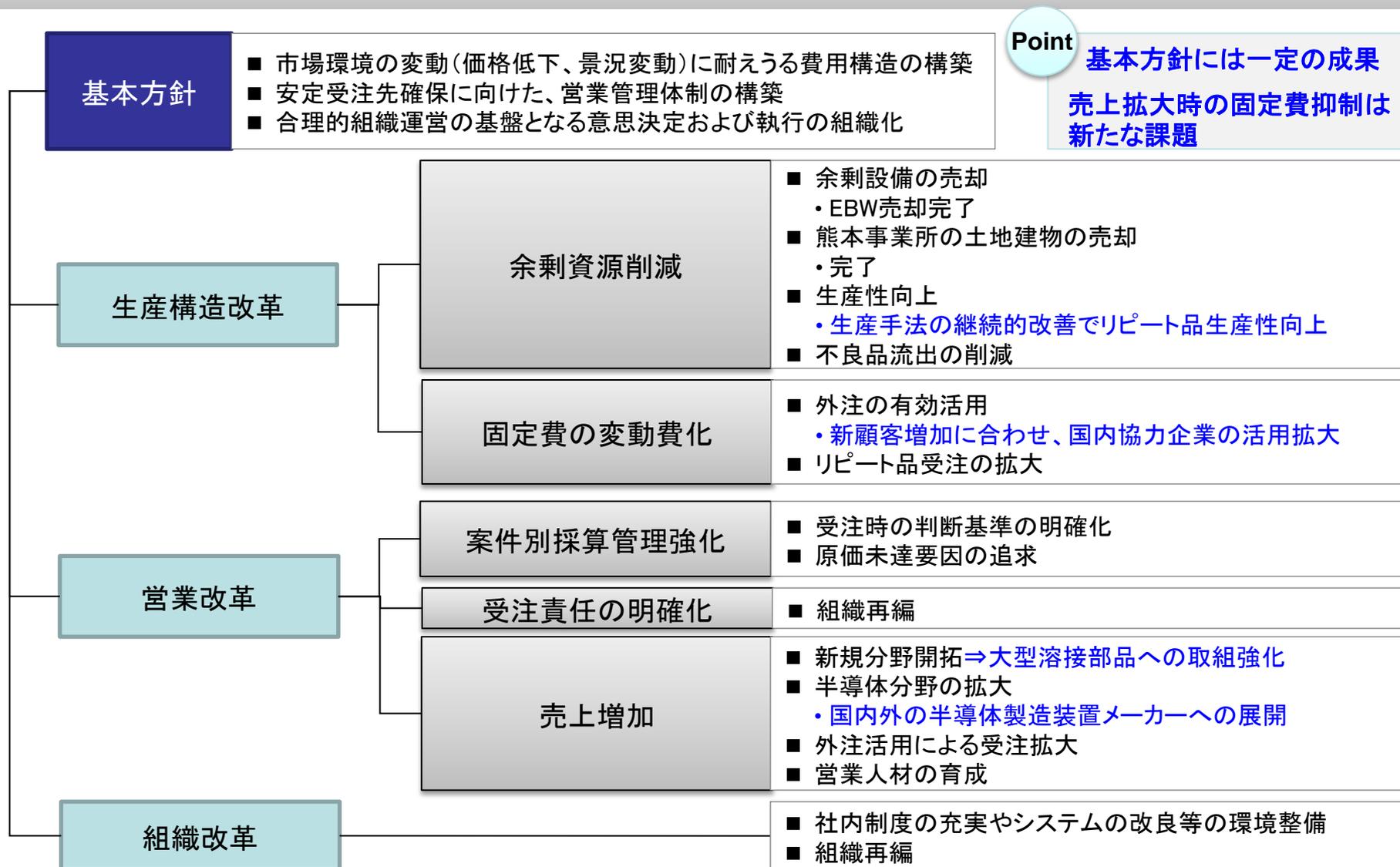
(単位:百万円)



(単位:百万円)



事業再生計画の進捗



本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確定要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



Company Profile

企業情報

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)		大株主 (普通株式)	前田 俊一	928,400株
設立	昭和63年10月			株式会社マルマエ(自己株)	109,447株
資本金	1億3300万円 (平成26年8月31日現在)			前田 美佐子	84,000株
役員	代表取締役社長 前田俊一			マルマエ共栄会	33,900株
	専務取締役 山元弘	監査役 兒島吉二		前田 良子	30,000株
	取締役 海崎功太	監査役 寺畑幸雄		五十嵐 光栄	27,900株
	取締役 藤山敏久	監査役 大道卓		日本証券金融株式会社	26,600株
従業員数	88名 うち 臨時雇用者等20名 (平成26年8月31日現在)			石川 美智子	19,100株
所在地	本社	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41		株式会社SBI証券	17,400株
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15		川口 直信	15,400株
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務 		敬称略 平成26年8月31日現在		
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> 1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>				

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務(元社長、元相談役)が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限会社(現当社)に改組(出資金2,000千円)
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D(現当社事業)を前田俊一(現代表取締役社長)が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンプレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更(資本金10,000千円)
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町(現出水市)に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定(証券コード6264)
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場(知識工場)取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年3月	本社第4工場竣工
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月の記載を省略しております。